

SFR plus スイフトウォーター・ファーストレスポnder・プラス/スケジュール表

注1:スケジュールは予定です。終了時間は遅くなる事があります。また、始業時間の変更もあります。

注2:下記の項目以外の講習を加えたり、替えることがあります。

1日目 受付/9:00~9:20
机上講習と実技講習/9:30~19:00(午後、川での実技講習)

講習課目	概要
レスキュー哲学	レスキューの基本的な考え方と救助者の心構え。レスキューの優先順位、危険レベル分類、チーム構成など
水文学と流体力学	川と流水の特性、危険箇所。エディー、ホール、ストレーナーなどの説明。
個人装備	レスキューに必要な個人装備や服装の紹介。PFD、ヘルメット、リバーナイフ、ウェットスーツなど (昼食後、着替えて、川での実技講習)
流水での基本的泳法	流れの方向やエディーを確認し、安全に流される泳法や、積極的な泳法についての実習。
スローロープ・レスキュー	極めて有効な救助の道具である、スローロープ(スローバック)の特性と使い方、流される要救助者を陸上から救助する訓練 (着替え、教室へ移動)
ロープノット	レスキューに有効で効率的なフィギュアエイト(8の字結び)系を中心としたロープの結び方の紹介と習得

2日目 実技講習と認定式/8:00~18:30(終日、川での実技講習。現地で昼食予定)

講習課目	概要
ボート操船	水上救助で使用するインフレーターボートの操船訓練
浅瀬横断	救助者(単独および複数)が、浅瀬を歩いて要救助者を救助する方法
ストレーナー越え	流水にあるストレーナーの危険性の確認と対応についての訓練
コンタクトレスキュー	流されている、溺れている要救助者を、直接、泳いで救助する訓練
ライブバイト・レスキュー	クイックリリースベルト付きPFDとスローロープを利用したレスキュー訓練
2ポイント・4ポイント・ボートテザーシステム	ボートに複数のロープをつなぎ、ロープを両岸から操作することによりボートを制動させる救助システムの訓練 (着替え、教室へ移動)
筆記試験と認定式	学科試験を実施。実技講習中のチェックと合わせ、合格者に認定証を交付

個人装備(当日持参)	<input type="checkbox"/> 筆記具(ノート、手帳、多色ボールペンなど)
	河川講習用/ <input type="checkbox"/> PFD <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> ウェットスーツ <input type="checkbox"/> シューズ ※不足する装備品はレンタル可能です(有料)。事前に、お申し出ください。 食事/昼食は含まれません。ご持参されるか、受付時に、ご注文ください。